

医療分野で需要が伸長

脚光浴びるプラスチックストロー

業務用ストロー国内
トップメーカーのシバ
セ工業(岡山県浅口市、
〒08665・44・2
215)は、高度な製

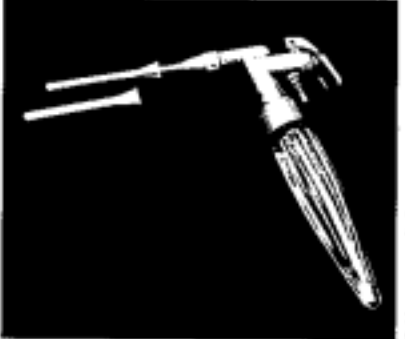
造加工技術を生かした「プラスチックストロー」の開発で需要を捉えている。新型コロナウイルスの感染対策が重視される中、低コストかつ衛生的な使い捨てプラスチック製品の優位性が再認識されている。

同社は主力の飲料用ストローに続く第2の柱として、かねて工業用ストローの開発に取り組んできた。中でも

昨今は、医療現場の感染リスクを軽減するアイテムとして、医療器具カバーストローの需要が伸長している。

従来はアルコール消毒で対応していた医療器具のカバーとして提案するディスプレイサブ製品で、口径や長さなど、器具に合わせた設計で提供する。

このほど開発した「鼻用薬剤噴霧ノズルカバー」は、耳鼻咽喉科で患者の鼻腔内に用いる医療器具のノズル部分、ストローでカバー



鼻用薬剤噴霧ノズルカバー

だ。

わらおぞ
STRAW

「わらおストロー」にはオリジナルデザインも

。また、新型コロナウイルスの収束が見通せない中、今後も関連市の停滞は続くもの認識しております。

そうした状況下、社では利益確保にめるとともに、独自の技術力や先を見えた発想によって、来たる「アフタコロナ」に対応す考えです。一刻一刻変化する社会で、従来なかったニーズも生じています。これからの時代適応した新たな開拓により、逆境を事拡大への好機へと換えてまいりま

なお同社は、今年4月に主力の飲料用ストローをオリジナルプラスチック製品からではの利便性や衛生性をさらに広く発信する考え

る。海洋プラスチック問題の影響でストローへの注目度が高まる中、プラスチック製品ならではの利便性や衛生性をさらに広く発信する考え